

令和6(2024)年度スポーツ活動に関するアンケート調査結果の概要

1 目的

スポーツ活動に関するアンケート調査は、平成17(2005)年度から毎年実施しており、本年度で20回目の実施となる。

この調査は、『みよし市スポーツ推進計画』に基づき、市民のスポーツ活動の現況とスポーツ活動に対する考え方を把握するために実施。調査結果は、運動・スポーツによる健康・体力づくりや生涯スポーツ推進を一層充実するための基礎資料とする。

2 方法

(1) 調査者：みよし市教育委員会

(2) 調査対象：市民で小学1年生以上の男女58,275人(令和6(2024)年7月1日現在)

一般市民調査：無作為抽出1,000人(1.72%)

調査方法：郵送及びweb回答

調査期間：令和6(2024)年7月1日から8月10日まで

3 回収状況

(1) 回収数

一般市民調査：回収数398通／1,000通＝回収率39.8%(R5回収率43.7%)

(2) 回答方法

一般市民調査： 郵送回答：213通 回収数における割合：53.5%

web回答：185通 回収数における割合：46.5%

問2 【行うスポーツ】この1年間に行った運動やスポーツの日数

表1. 1年間のスポーツ活動について

%(人)

1年間のスポーツ活動	R2	R3	R4	R5	R6
定期的に行った(週1以上)	49.2(244)	50.4(241)	50.9(216)	51.9(228)	49.2(196)
20歳以上	45.9(184)	45.0(174)	47.8(171)	48.3(183)	44.6(150)
20歳未満	63.2(60)	73.6(67)	68.2(45)	75.0(45)	74.2(46)
定期的ではないが行った	24.0(119)	27.2(130)	25.2(107)	23.0(101)	24.4(97)
行わなかった	26.8(133)	22.4(107)	23.8(101)	25.1(110)	26.4(105)
未回答	0.0(0)	0.0(0)	0.0(0)	0.0(0)	0.0(0)
合計	100.0(496)	100.0(478)	100.0(424)	100.0(439)	100.0(398)

週1回以上定期的にスポーツ活動を行ったスポーツ実施率は全体の49.2%。令和5(2023)年度の実施率は51.9%であり、比較すると2.7%減少している。

定期的ではないがスポーツ活動を行った24.4%を加えた73.6%の人が、何らかの運動やスポーツをしている。

◎20歳以上の週1回以上のスポーツ実施率

スポーツ推進計画において令和7(2025)年度の20歳以上の週1回以上のスポーツ実施率の目標値は65%以上としている。令和6(2023)年度は44.6%となり、令和5(2023)年度と比較すると3.7%減少し、目標値とは差が生じている。

◎20歳未満の週1回以上のスポーツ実施率

スポーツ推進計画において令和7(2025)年度の20歳未満の週1回以上のスポーツ実施率の目標値は75%以上としている。令和6(2024)年度は74.2%となり、目標値には達していないがその水準は保っている。

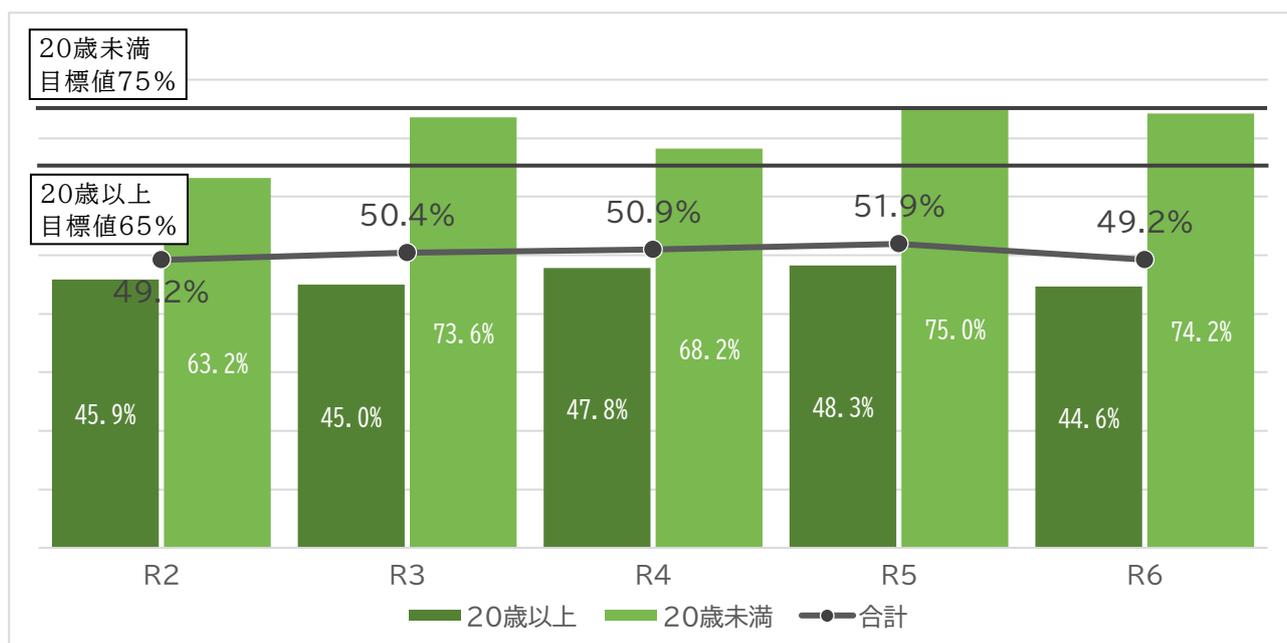


図1. 週1回以上スポーツ実施率

問7 【観るスポーツ】この1年間にスポーツ観戦を行ったか

表2. 1年間のスポーツ観戦実施率

目標値	R2	R3	R4	R5	R6
40%以上	23.7%	14.2%	21.2%	23.9%	28.9%

スポーツ推進計画において令和7(2025)年度のスポーツ観戦の目標値は40%以上としている。令和6(2024)年度調査では「日常的・定期的に行った」と「イベント・大会で不定期に行った」をあわせて28.9%という結果となった。令和5(2023)年度と比較すると5.0%増加し、多くの市民、特に20歳未満の若者が競技場等に行きスポーツを観戦した。

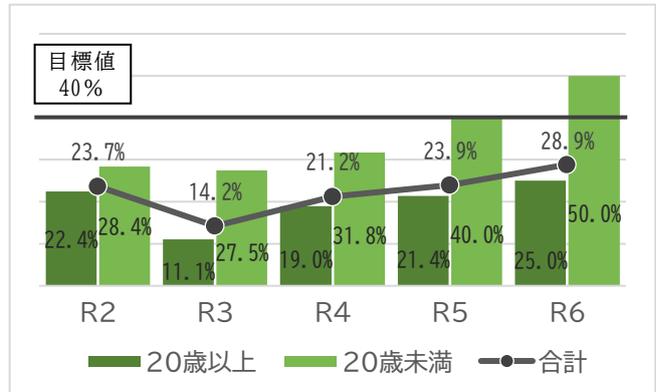


図2. 1年間のスポーツ観戦実施率

問11 【支えるスポーツ】1年間にスポーツ指導等ボランティアを行ったか

表3. 1年間のボランティア実施率

目標値	R2	R3	R4	R5	R6
10%以上	5.9%	5.0%	7.5%	5.2%	5.3%

スポーツ推進計画において令和7(2025)年度の支えるスポーツとして、スポーツに関わるボランティアの実施率の目標値を10%以上としている。令和6(2024)年度は「ア」日常的・定期的に行った」及び「イ」イベント・大会で不定期に行った」と回答した割合は5.3%であり、令和5(2023)年度と比較すると0.1%増加した。

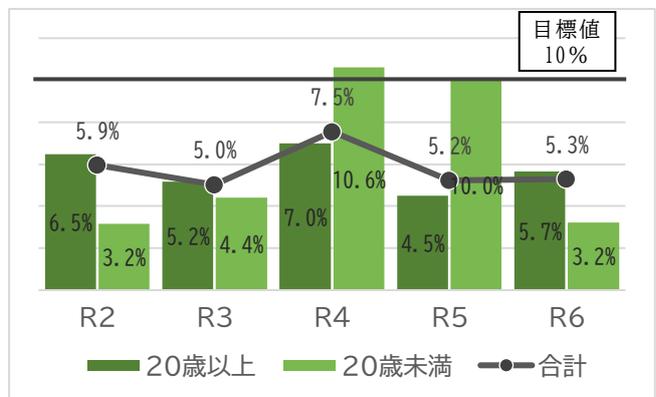


図3. 1年間のボランティア実施率

問3 この1年間に運動やスポーツをした理由は(複数回答)

スポーツをした理由として、「健康・体力づくりのため」が一番多く、次に「楽しみ・気晴らしのため」が多く、過去3年と全く同じ結果であった。運動・スポーツをする人は体調面、ストレス発散など健康面に気を配り活動していることが伺える。

問4 この1年間に運動やスポーツをしなかった理由は(複数回答)

スポーツをしなかった理由として、「仕事、家事が忙しい」が一番多く、「年をとったから」「機会がなかった」が続いた。スポーツ実施率を上げていくには、ライフスタイルに合わせたスポーツの機会の提供、年齢に応じたスポーツプログラムの提供も重要と考えられる。

問5 今後、やってみたい運動・スポーツは(複数回答)

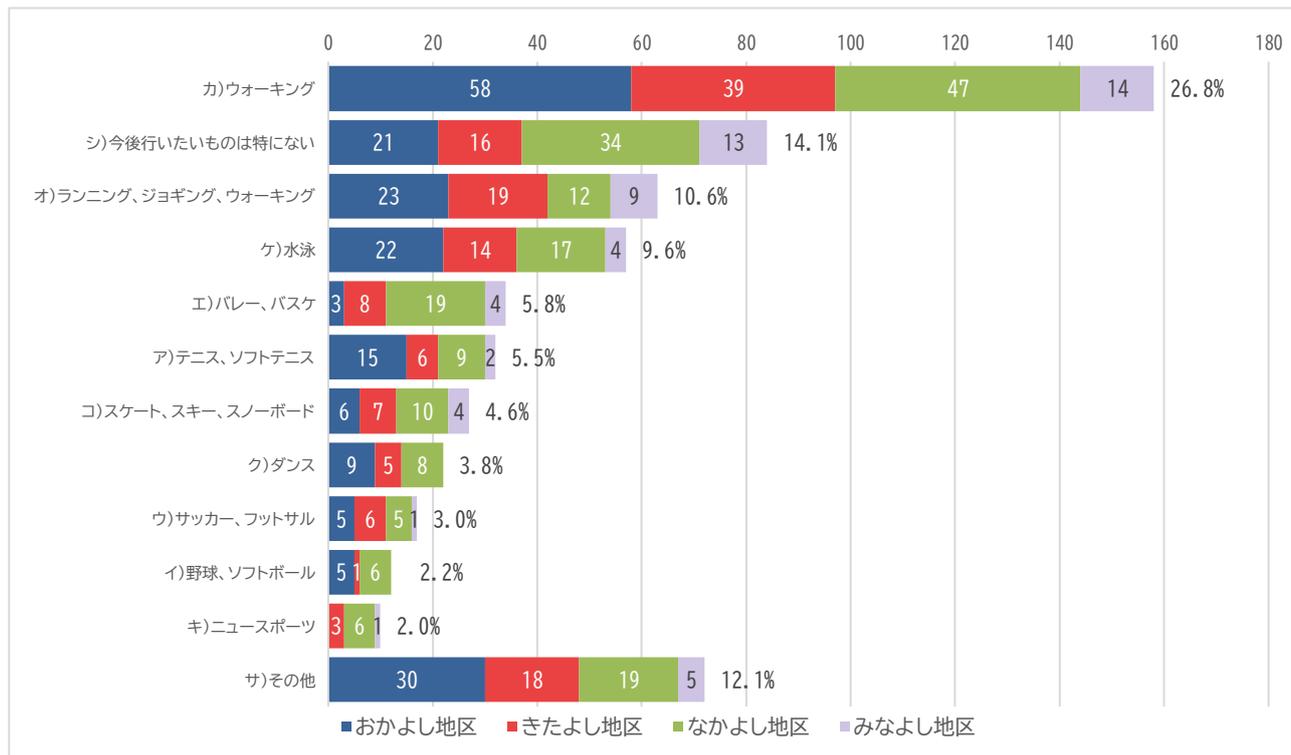


図4. 今後行ってみたいスポーツ

今後、やってみたい運動・スポーツは「ウォーキング」が一番多く、地域別でも「ウォーキング」がそれぞれで一番多い種目であった。

問13 総合型地域スポーツクラブの認知度について

総合型地域スポーツクラブについて「知らない」という回答は55.5%で、令和5(2023)年度と比較すると1.3%増加した。「活動について知っている」と答えた人は、全体で10.8%であり、地域別では、みなよし地区が22.9%と最も割合が高かった。

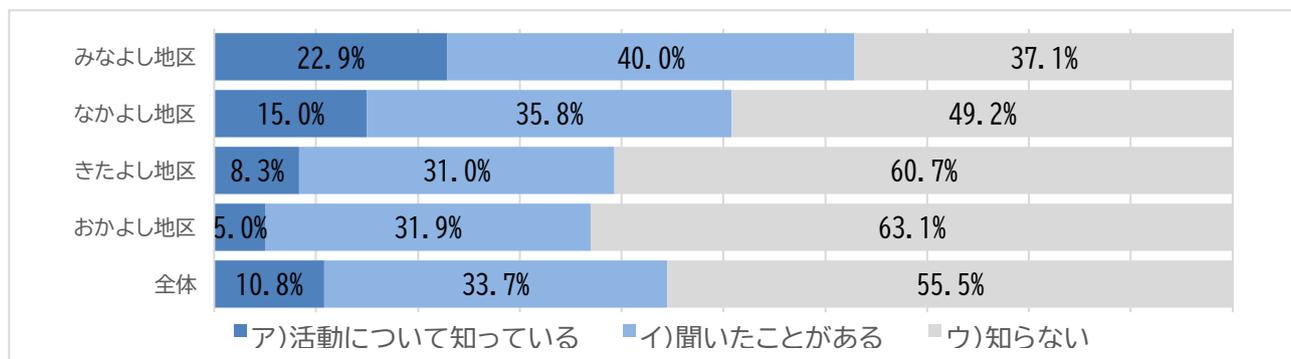


図5. 総合型地域スポーツクラブの認知度

問15 総合型地域スポーツクラブ入会の条件について(複数回答)

総合型地域スポーツクラブに加入していない人で、どのような条件であれば加入を検討するかの回答では「時間的余裕があれば」という回答が一番多く、「会費が安ければ」「家や職場の近くにあれば」という回答が続いた。地域別にみてもきたよし地区では入会の条件として「一緒に加入する仲間がいれば」と回答した割合が他地区に比べ多かったが、その他については大きな違いはみられなかった。

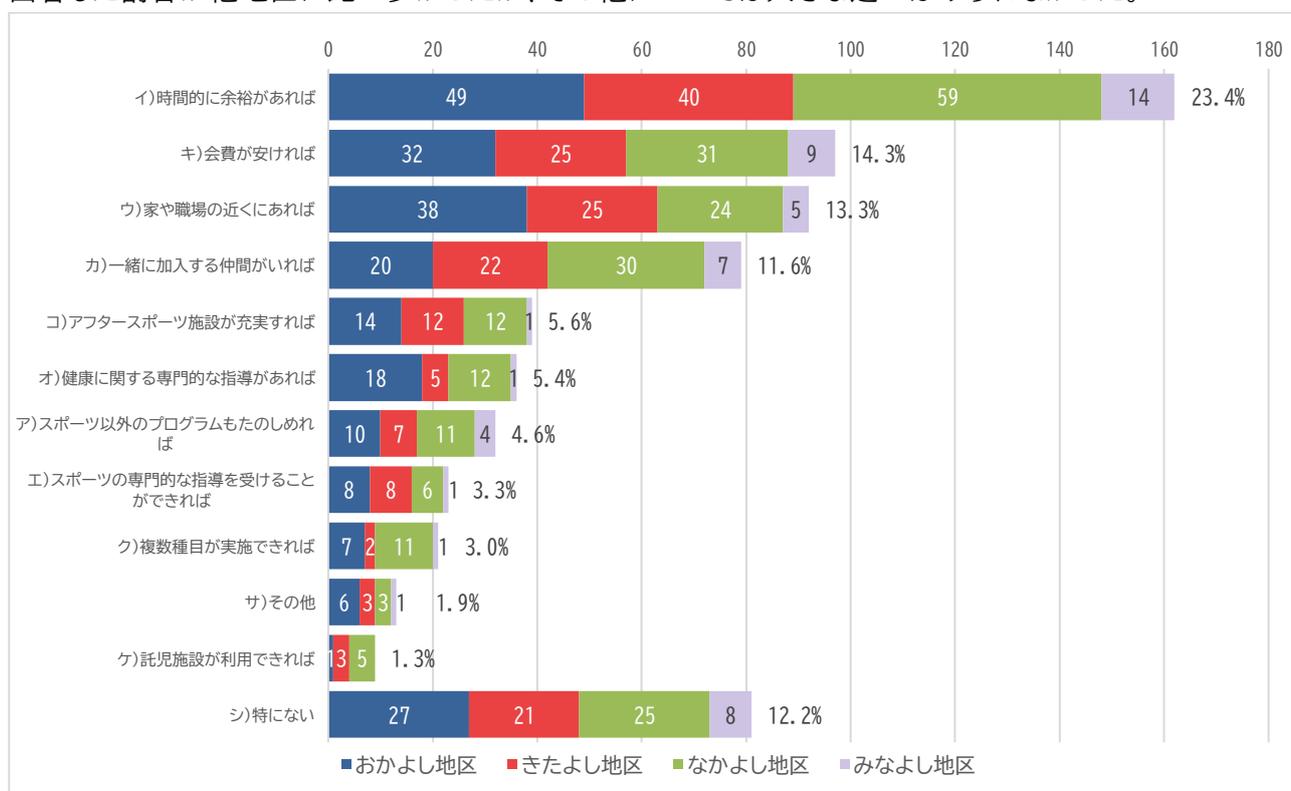


図6. 総合型地域スポーツクラブ入会の条件

問16 スポーツ振興にあたり、行政が注力すべきこと(複数回答)

市内全域では「屋内スポーツ施設の整備」、「年齢層にあったスポーツ・レクリエーションプログラムの開発普及」、「各種スポーツ行事・大会・教室の開催」が上位を占めた。いずれもスポーツを実施するための場の提供についての回答が多かった。

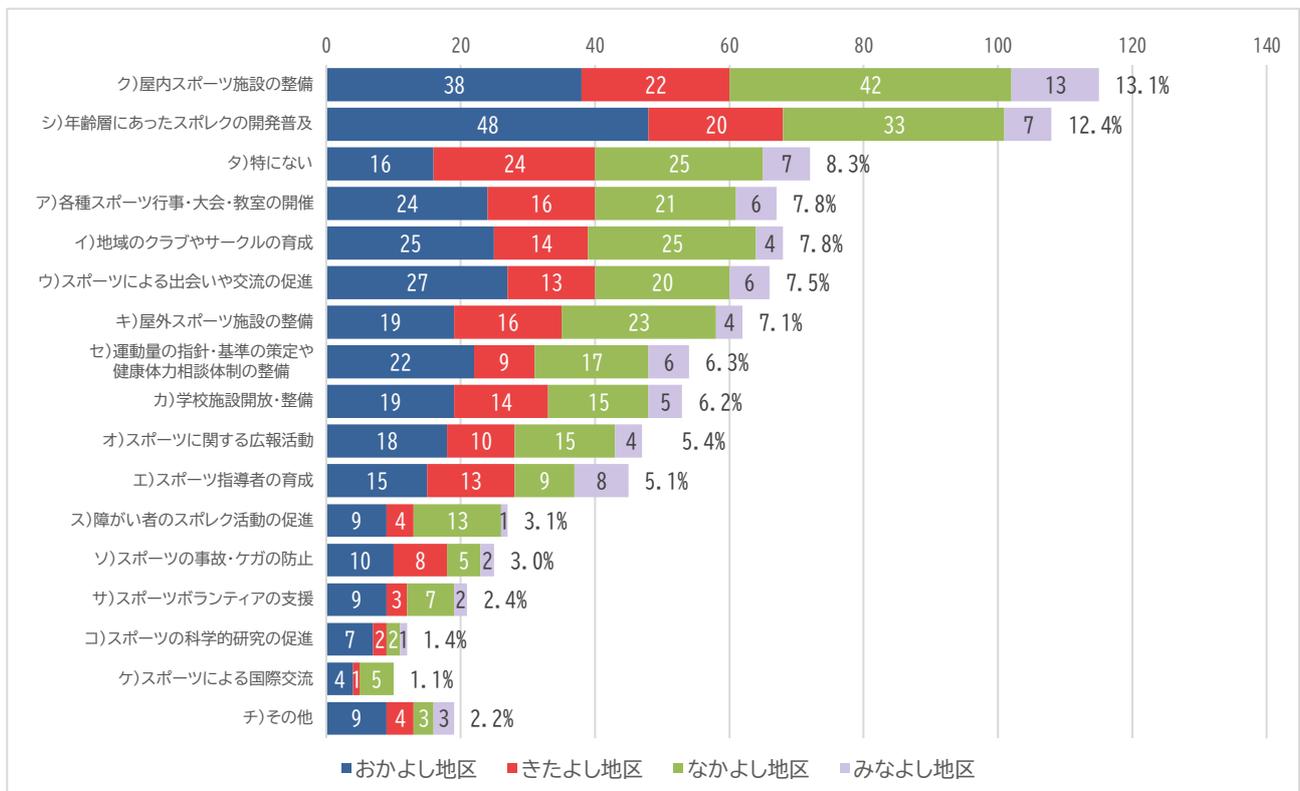


図7. スポーツ振興にあたり、行政が注力すべきこと

問6 スポーツ施設に望むこと(複数回答)

スポーツ施設について「身近で利用できるよう、施設数の増加」「利用手続き、料金支払い方法の簡略化」「利用時間帯の拡大(早朝、夜間など)」が上位を占め、市民のライフスタイルに応じ、身近な場所でスポーツができる環境を望む回答が多かった。

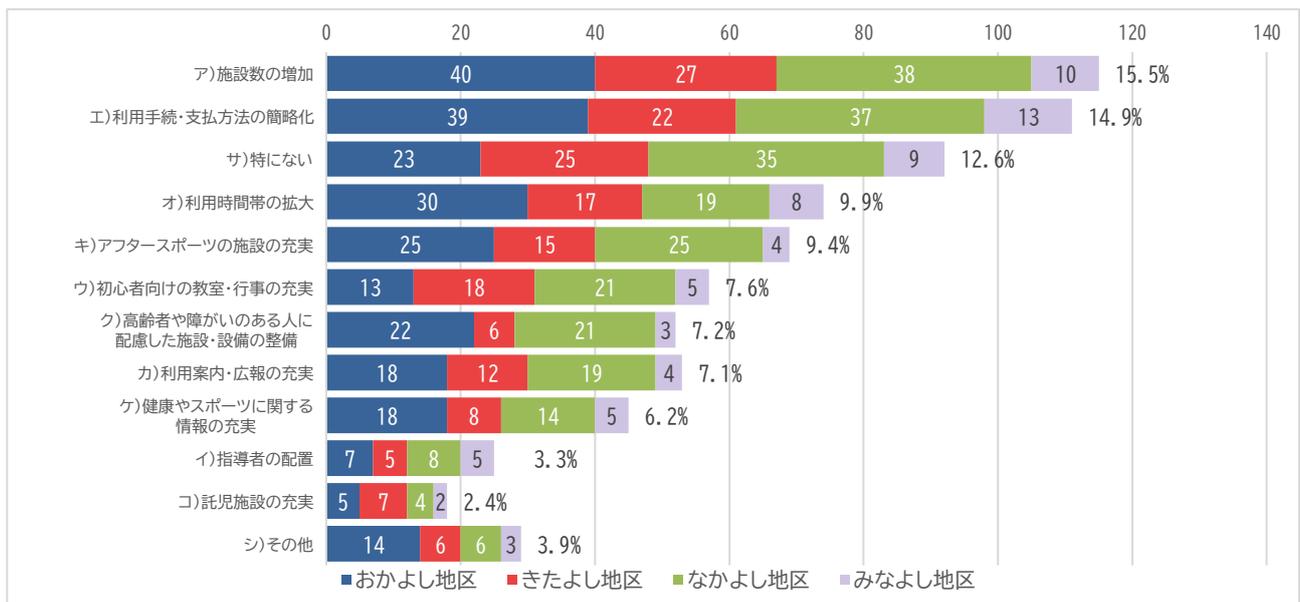


図8. スポーツ施設に望むこと